

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和2年度 第3回みよし市教育振興基本計画推進委員会		
開催日時	令和3年2月18日(木曜日) 午前10時から午前11時まで	※書面開催	
開催場所	みよし市役所6階 601・602会議室		
出席者	<p>【委員】 委員長：大村 惠 副委員長：堀木 広 委員：富樫 佐智子 杉浦 美智子 前田 恭伸 大地 由美子 古井 成之 内田 弥生 鈴木 睦子 日比野 直子 吉田 ひとみ 渡邊 祥子 吉川 直希 林 晴子 鈴木 克弥 石井 拓児</p> <p>【事務局】 今瀬良江教育長 深津教育部部長 山北教育部参事 岡田教育部次長兼教育行政課長 伊藤子育て健康部次長兼子育て支援課長 橋本生涯学習推進課長 都築学校教育課長 甲村スポーツ課長 村山中央図書館長 林資料館長 渋田給食センター所長 鈴木主幹 狩野主幹 江上主幹 菅田主幹 中林主幹</p>		
次回開催予定日	令和3年6月		
問合せ先	教育部 学校教育課 電話：0561-32-8026 ファックス：0561-34-4379 メール：gakko@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none">・ 議事録全文・ 議事録要約	要約した理由	
審議経過	別紙のとおり		

令和2年度 第3回みよし市教育振興基本計画推進委員会 会議録

日時	※書面開催 審議の日程 令和3年2月18日(木)から令和3年3月1日(月)まで
次第	1 みよし市教育振興基本計画【改訂版】(最終案)について (1) パブリックコメントについて(資料1-1) (2) パブリックコメントで公表した計画案からの変更点まとめ(資料1-2) 2 令和2年度 of 取組及び進捗状況について (1) 令和2年度「20の作戦」進捗状況(資料2-1) (2) 令和2年度「体系別全施策」進捗状況(資料2-2)

1 みよし市教育振興基本計画【改訂版】(最終案)について

すべての委員から、書面により「承認する」との回答があったことから、みよし市教育振興基本計画【改訂版】(最終案)の内容について、承認されました。

◆いただいた御意見、御質問等

杉浦委員

1 意見 第2章の6「みんなで育てるみよしっ子」の全体像がよくまとまっており、分かりやすくなっていると思います。家庭・地域・学校で大人が「共育・協育」の共通理解の下、それぞれの立場で子どもたちの健やかな成長を担うことが伝わる感じがします。「20の作戦Plus One」という位置付けも適切だと考えます。

1 回答 「みんなで育てるみよしっ子」については、第2回の委員会で十分な協議時間を割くことができませんでしたが、その後、書面にて委員の皆さまから率直な御意見を多くいただきました。これらの御意見をもとに教育委員会で再検討して最終案に掲載しました。今後、内容を充実させながら市民へ周知を図り、家庭・地域・学校が共に手を携えて子どもたちを育てていくための共通の指針となるよう取り組んでいきます。

大地委員

1 意見 作戦⑩に関して、別紙資料1-2に「30人編制にすることで、20人の学級が生じてしまうことによるデメリットの検証不足」とありますが、検証の必要性の根拠と、どのように検証していくかが分かりにくいと思います。

1 回答 「1クラスの人数は少なければ少ないほどよい」という考え方がある一方で、「これまで35人のクラス集団の中で培ってきた力を20人という人数の集団の中で同じように身に付けていくことができるか」という課題が生じます。ここに検証の必要性があります。また、検証方法としては、モデルとなる学校・学年を決めて試行的に実施することで、少人数指導の在り方を検証していきます。

2 意見 作戦⑩の【進行計画】と【成果指標】が教科担任制に絞り込まれていますが、「一人一人の良さを発揮できる学校づくり」と直に結びつかない感じがします。

2 回答 教科担任制になると、専門性の高い指導を行うことが期待できます。一人一人の考えや意見を教科の特性と照らし合わせて受け止めることで、その子

の良さを認め、価値づけることができます。【成果指標】として、全国学力・学習状況調査の質問項目「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の回答割合を使うことも検討しましたが、施策としての進捗を測るためには、現在の指標のように「教科担任制の教科・学年がどのくらい進んだか」の方が明確であると考えています。

3 意見 作戦⑭、作戦⑯などで、成果目標を受講した人の人数や活動した人の延べ人数で示していますが、これだけでは最適な指標にならないと思います。実際に参加した人の実数や、延べ人数に対する実数の割合も示すと、実態が分かりやすいと思います。

3 回答 参加者の実数を示す方が実態が分かりやすい、という御意見はもっともであると受け止めます。しかしながら、生涯学習講座は春夏講座・秋講座・冬講座の3期に分けて実施しているため、各期の申込者の重複を省いて実数を出すためには、新たなシステムの導入が必要となるため現時点では難しいと考えます。ただし、新規講座申込者数は把握することが可能ですので、教育振興基本計画推進委員会において、年度末の実績報告に延べ人数と併せて記載する方向で検討します。また、総合型地域スポーツクラブについては、市内で3クラブに分かれており、それぞれのクラブが人数を集計しています。クラブをまたいでさまざまな活動に参加している重複者を省きながら実数を出すのは難しいため、延べ人数と併せて登録会員数について教育振興基本計画推進委員会の年度末実績報告に記載する方向で検討します。

4 意見 広報や発信について、手法を考えていくと良いと感じています。例えば、愛知県の新型コロナウイルス感染状況について、1回登録するだけでLINEにどんどん情報が入ってきます。学校のメールはほぼ全家庭につながっていると思います。上手に活用して、必要だと思ったときに情報がすぐ手元にあるシステムを作っていくと良いと思います。

4 回答 御意見を参考に、今後、情報発信の方法を検討していきます。

5 質問 体系別全施策Ⅲ 2 - (1) エ「地域人材による部活動の活性化」について、「もっと部活動を頑張りたい」と思う子どもがたくさんいてよいと思います。ただ「部活動」の考え方ですが、他地区では、小学校の部活動を社会体育の方へ移行していたり、中学校の部活動もその方向へ考えていたりということがあると聞きます。みよし市では、これからどのような方向性を考えているのかを知りたいです。

5 回答 部活動の「地域部活動」への移行については、現段階での課題について教育委員会内でまとめているところです。来年度以降、「部活動改革検討委員会」を立ち上げ、関係機関と協議しながら方向性を決めていく予定です。なお、教育委員会では周辺市町に今後の方向性について聞き取りを行い、情報収集をしながら進めています。

富樫委員

1 質問 P43【進行計画】「小学校教科担当任制」となっているが「当」はいらないのではないかと。また、令和5年度に「30人学級の試行的実施」が追加されていないのではないかと。

1 回答 御指摘のとおりです。修正します。

2 意見 P74のI-5(1)ア「個別の支援を要する子どもへのサポート体制の充実」の説明文、「多様性理解に関する指導力向上のための教職員研修を実施するとともに」とあるが、主語として「教職員が」が必要。

- 2 回答 「教職員が」を加えて修正します。
- 3 意見 資料1-2「5 第4章-I 6-(2)イ 快適な学びの環境づくり (P80)」の変更が反映されていない。
- 3 回答 修正し、反映させます。

内田委員

- 1 意見 大切に人を育てていく姿勢が伝わり、心の通った計画に感じられました。
- 2 回答 推進委員会での委員の皆さまの熱心な御協議により、計画が出来上がりました。ありがとうございました。

2 令和2年度を取組及び進捗状況について

◆いただいた御意見、御質問等

杉浦委員

- 1 意見 本年度は新型コロナウイルス感染拡大という厳しい状況の中、それぞれの施策の推進にはご苦労が多かったことと拝察いたします。そんな中で、次の手を考え、工夫して取り組まれたもの（作戦⑤⑪⑱など）がいくつか見られ心強く思いました。
- 1 回答 新型コロナウイルス感染拡大防止のために、代替として取り組んだ内容について評価いただきありがとうございます。ピンチをチャンスに変えるという視点や、与えられた条件で最大限の成果を出すといった考え方は、ポストコロナでも生かしていきたいと思えます。

大地委員

- 1 意見 令和2年度は実施できなかったことが多かった中で、学校教育の中では達成できたものが多くあり、良かったと思います。
- 1 回答 実施できない場合も、代わりにできることを考えて実施した結果です。

内田委員

- 1 意見 さらに具体的にどう動くのかが書いてあるともっと分かりやすいと思いました。
- 1 回答 来年度以降、進捗状況を報告する際は、次年度への取組を加えるように改善します。